

1
a 期末
b 種類
c 初代

2 「やる」
3 目的
4 ウ
5 a エ
b イ
c ア

6 イ・ウ
7 I 女
II 心
III 日

8 ⑥ 自動車
⑦ 飛行機
9 技
10 スマホ
11 (記述題)

2
1 a 往復
b 記録
c 病院

2 A 若い
B 声が
3 イ
4 指定

5 I ④ 目
II イ・エ
III ル

6 A バス停
B 移動距離
7 A 一箇
B 弥生

8 だか
9 (記述題)
10 (記述題)

11 1 学校は、希望にみちた未来をつくるため、そこを支援する技術や知識を学ぶところだといふこと。

9 2 足の悪いおじいさんが生活している位置を変えてくれるように、バス停の位置を変えておくことに、バス停の位置を変えておくこと。

10 弥生ばあさんの家よりも奥足の悪いおじいさんの家の前にある

「配点」	
11	1
11	1
7	
2	7
9	2
10	1
5	
各4点	各6点
×14	×3
56	18
点	点

(同意可)

(同意可)

(同意可)

- 1 aは「末」と「未」をはっきり区別して書くこと。bは、画数の多い漢字なので、丁寧に書くことが大切である。cは知識がないと意味が取りにくいかもしれないが、「ファミコン」は「テレビゲーム」の代名詞になるほど普及した家庭用ゲーム機のはしりであった。その後、スーパーファミコンなどが出てきたが、その最初のものであるというところで「初代」を答える。
- 2 問いかけ表現の答えはつねに意識して読み進める必要がある。続く段落は具体例(たとえ話)なので、ここをそのつもりで読み進めながら、まとまった表現が出てくるのを待とう。

- 3 考え方としては、直前の段落がすべて「○○になるためには△△学校に通う」の形であることに注目してまとめた言葉を考えるということになる。ただ、ある程度の語彙力を必要とする問い方になっているのでこういった言葉に心当たらなければ探しきれない。
- 4 いきなり「魔法」と言われても説明不足であることは筆者自身、理解しているのだが、結論を先に述べてから説明を付け加える方式を採用して述べていることとしていられるのである。

- 5 平易な接続詞の問題である。aに「たとえば」を入れたくなるかもしれないが、cに入るものがなくなってしまう。また、「実際」という言葉が続いているので、「たとえば」とは限らないことも念頭に置いておけるとよい。

- 6 飛行機のようなものを「当たり前」だと思つて過ごしている現代人に向けて、「改めて考えてみると不思議なことではないか」と問いかけているのである。また、選択肢の組み合わせも実質的には二択である。ありえない組み合わせを書かないこと。

- 7 共通部分をもつ漢字を組み合わせた熟語は定番のパターンがあるので、ぜひとも出会ったときに納得しておくとともに、よく出題されるものはすぐに呼び出せるように記憶のなかにまとめて留めておいてほしい。I「姉妹」、II「思想」、III「時間」ができる。

- 8 「鉄のカタマリ」は飛行機のことを指して使われていることも、自動車のことを指して使われていることもあるので、——線⑥の部分に即して答えよう。「鉄の鳥」は他に用いられていない比喩だが、自動車や地下鉄と並べて語られていることから見当はつけられるであろう。

- 9 「妖術や魔術ではなく」とあるので、「術」は比喩的な言葉ではないことがわかる。その上で、私たちの生活を便利にするようなものを取り上げられていることを踏まえて「技術」という言葉と結びつきたい。「科学(・)技術」に関連する話題は入試の文章に頻繁に取り上げられるものなので、そういった言葉には敏感になっておこう。

- 10 続きを読めばすぐにわかるだろう。「スマホ一台で」が「ぜんぶ」で「対応している」。
- 11 直前をもとにして、要旨をまとめていけばよい。「未来」などはそのまま用いてよいという指示には、たんに使わなくてはいけないという条件としての意味合いだけでなく、「魔法」をそのまま用いるのではない説明をしてほしいという意図も込められていると受けとるべきであろう。

- 2 aの「往復」は、熟語の組み立ても知っておくこと。「往」は「行き」、「復」は「帰り」である。「複」と書いてはいけない。bは「録」の字形を正確に書こう。「縁」のように一見類似した字形の字があるので、へん・つくりとも注意して書くことが大切である。c「病院」は、「やまいだれ」の部分などについて、できるだけ字形のバランスに気をつけて書いてほしいものである。

- 2 最後まで通読すれば問題としては平易なものである。ただし、今後のためには、問題で問われてから考えるのではなく、読み進めるなかで疑問に思い、引っかかりを残しながら、解決の箇所に至ってほしい。

- 3 一度声をかけてみたのだが、邪険にされたので、その後は関わりを持たないようにしている姿が直後に書かれている。それを言い表した言葉として最も適切なものを選ぼう。

- 4 バスの座席のことを言っているのでピンとこないかもしれないが、新幹線や飛行機をイメージすればわかるように、専用に取つてある席のことを「指定席」といい、それを一般に「いつも特定の人が占めている場所」という具合に意味を拡張して用いることがある。

- 5 I 身体の一部を表す語句を用いた慣用語は多く、また入試でも頻出なので、ぜひともたくさん身につけておこう。
II 「正義感」と書く。「正義漢」という字を書く言葉もあるが、意味が異なり、こちらは「正義感の強い人」のことを指して用いる。また、選択肢はそれぞれ「世界観」・「イ」満足感」・「ウ」熱血漢」・「エ」連帯感」・「オ」門外漢」である。

- III 日本語の語種の特徴を踏まえると考えやすい。「一」は原則、外来語にしか用いないので、設問に指定はないが、○にはカタカナが入ることは一目瞭然である。あとは直前から「好き勝手は許さない」すなわち「決まりは守るべきだ」と考えられれば答えは決まる。

- 6 Bに安易に「位置」を入れないこと。入れてから「本当にそれでいいか」をきちんと検証するクセを早いうちにつけよう。

- 7 やや答えにくい問い方かもしれないが、◎の文を最大限に生かして解くのが要約文穴埋め形式を上手に解くコツである。

- 8 「見たこともない人に驚く」ということは、「すべての人を知っているはずだ」と考えているはずである。

- 9 具体的に言えば、「バス停が動いていたこと」である。しかも、亡くなる直前に移動距離が伸びていたのである。その意味するところを考えると、弥生ばあさんの「やり残したこと」であったということがわかるだろう。

- 10 9とも重なる設問である。空所補充は前後から、「答えの決まる条件」を明らかにすることが第一歩である。「弥生ばあさんの家の前にあるんじやなかった」とあるので、「ではなんなのか」と考えて、それを書けばよい。